

## 特別支援教室「のぞみ」とは

学校生活において、生徒それぞれが抱えている困り感に対して特別な教育を受けるために通う教室です。活動内容は、コミュニケーションスキルの向上を目指し、対人関係を円滑にするための方法を考えることや自己理解を促して情緒の安定を図る活動などの「自立活動」が中心です。

一人一人の指導内容については、学級担任など在校学級の先生方と密に連携を取りながら個別指導計画を作成し、指導を行っていきます。

また、特別支援教室へ通室した時数は、出席として扱われます。

(※対象となる生徒：ASD、ADHD、LD、場面緘黙等の発達障害の傾向が見られ、学校生活の困難さをもっている生徒)

## のぞみの由来

『希望(のぞみ)をもって学校生活を送り、明るい未来を共に語る』

## 教育目標

生徒一人一人が自己の能力や特性を理解し、自己を受容し、情緒の安定が図れるようにするとともに、学校や社会にかかわり自分のよさを発揮していけるような技能、習慣・態度を育てる。

### 《めざす生徒像》

- 自己を受け入れ、よさを生かし、課題を克服しようとする人
- 自ら学び、粘り強く努力する人
- 他者とかかわり、思いやりをもち、よい人間関係を築いていける人

## 支援内容

内容	自己理解を促しながら、コミュニケーションスキルやソーシャルスキルの向上を目指して自立活動の授業を行います。 個別授業では、生徒一人ひとりの実態に応じて授業内容を決めて実施しています。例えば、1週間の振り返り、自分に合った学習方法の検討等を行います。 小集団授業では、コミュニケーションスキルの向上を目指して授業を実施しています。運動・創作・発表・文章作成の活動等を行います。
時間	原則として週1～2日、2時間程度です。本人の実態に応じて、指導時間を設定します ※特定の教科の授業が学習できないということにならないよう調整します。
形式	<b>個別指導</b> 個別の課題に応じて、1対1で授業を行います。 <b>小集団活動</b> 生徒複数人で小集団の授業を行います。
連携	個別相談、年間1回お渡しする通室状況報告書、連絡ファイルの交換などにより、保護者・在籍校との連携を図ります。

## 施設紹介

### 小集団教室



### 個別指導教室 1



### 個別指導教室 2

